

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
倫理	3	2	高校倫理 新訂版（実教出版）	高校倫理 新訂版演習ノート（実教出版） 最新図説 倫理（浜島書店）
到達目標 古今東西における様々な思想に触れ、他者理解に基づく豊かな社会を創り上げる公民としての自覚を養う。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	宗教や哲学など幅広い思想に関心を寄せ、身近な社会と関連づけて学習をしている。
b 思考・判断・表現	様々な思想を比較や考察をし、自分の考えを確立しようとする。
c 資料活用の技能	地理的視野や歴史的背景を踏まえ、資料を読み解くことができる。
d 知識・理解	倫理における基本的な概念や思想などを理解し、身につけている。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価とする。	

年間指導計画													
前期						後期							
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	5	第1編 青年期の課題と人間の 自覚 第1章 青年期の課題と自己 形成 ・ 青年期の意義 ・ 青年期の課題	○	○	○	○	10	30	第2編 現代と倫理 第1章 現代に生きる人間の 倫理 ・ 人間の尊厳 ・ 科学技術と人間 ・ 民主社会と自由の実現 ・ 社会と個人 ・ 人間への新たな問い ・ 社会参加と幸福	○	○	○	○
5	15	第2章 人間としての自覚 ・ ギリシャ思想 ・ キリスト教 ・ イスラーム ・ 仏教 ・ 中国思想	○	○	○	○	12			○	○	○	○
			○	○	○	○	1	5	第2章 現代の諸課題と倫理 (レポート・発表課題)	○	○	○	
7	15	第3章 日本人としての自覚 ・ 古代日本人の思想 ・ 日本の仏教思想 ・ 近世日本の思想 ・ 西洋思想の受容と展開	○	○	○	○	3						
								計 70					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 ・授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・プリント・ファイル（A4 2穴）・ワーク・筆記用具を準備し、直ぐに授業が始められるようにしてください。 ・忘れ物は、1校時開始前までに申し出てください。 ・遅刻や欠席に関して、学校の基準以内であれば直接の減点はしません。 ・プリント提出・課題提出は期限を厳守してください。減点対象とします。 ・プリントを穴埋めするだけでなく、疑問や考えを記入したり、不明な点は自分で調べてメモをしたり、自主的に学習しましょう。 ・クラスメイトの学ぶ権利を奪う行為や向上心のない言動は慎んでください。 ・様々な価値観を学びましょう。正誤はありません。しっかり考え、周りに表現することが多くなります。
